



ぎかいだより 懸かけはし橋

2016.10.27 No.43



CONTENTS

健全財政は維持 引き続き一層の努力を … P	2
学校給食センター着工へ …………… P	7
町政を問う (一般質問：3人) …………… P	11
総務文教常任委員会視察報告 …………… P	15

「若宮八幡宮太神楽、奉納」

発行 おいらせ町議会 ・編集 議会広報編集調査特別委員会 〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2
 TEL 0178-56-2111(代表) FAX 0178-56-4364 おいらせ町ホームページ <http://www.town.oirase.aomori.jp/>
 QRコード読み取り機能付きの携帯電話等で読み込むと、議会ホームページに接続できます。→



「自治体予算」、「政策立案」について研修受講しました

— 議員派遣 —

去る7月下旬、全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)で開催された市町村議会議員研修に議員1名を、また市町村職員中央研修所(千葉県千葉市)で開催された市町村議会議員研修には2名の議員を派遣しました。

◆市町村議会議員研修 「自治体予算を考える」

全国市町村国際文化研修所において、7月21日(木)、22日(金)の2日間にわたり開催された研修に澤上勝議員を派遣しました。

同研修には全国から92名の市町村議会議員が参加し、「自治体予算の原則」や「歳入・歳出予算の基礎とそのチェックポイント」、「財政の現状把握と今後の財政運営の方針」といった講義がありました。また、テーマごとに14班に分かれ、各市町村の問題について意見交換、発表しています。

◆市町村議会議員特別講座 「政策の企画立案」

市町村職員中央研修所において、7月27日(水)から29日(金)までの3日間に行われ開催された研修に馬場議長と高坂議員を派遣しました。

同研修には全国から52名の市町村議会議員が参加し、「事例から考える政策調査・研究活動」「議会における政策立案の考え方」といった講義がありました。その後の演習では7班に分かれ、班ごとにテーマを決め、政策をまとめ発表しています。

【馬場正治議長】

初めて特別講座に参加したが、今後も議員の研修を奨励し、議員の知識・能力の啓発が議会活性化につながる、町の発展に寄与する議会を育てるこ

第4回定例会のお知らせ

平成28年12月1日(木) 午前10時から
 おいらせ町議会では、みなさんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、本庁舎3階の議会事務局までお越しください。

- 問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)
- 電話 0178(56)2111(代表)

表紙写真をお寄せください

あなたの作品を「ぎかいだより懸橋」に掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。おいらせ町の「自然」「伝統行事」「イベント」など、おいらせ町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

詳細は、議会ホームページの確認または、議会事務局までお問い合わせください。

送付先：おいらせ町議会事務局
 「議会広報写真」係

TEL：0178-56-2111(代表)
 FAX：0178-56-4364
 Mail：gikai@town.oirase.aomori.jp

議会を傍聴して

小向 良さん(黒坂)

議会が開かれる日は、時間があれば傍聴に行くようにしています。特に一般質問の時にはたくさんの町民が傍聴席に座って、議員と町長や各課長との一問一答の討論に熱心に聞き入っている様子が見られ、傍聴席の皆さんの議会(一般質問)に対する関心の高さを感じました。

私は特に一般質問の中で町長の公約にあった屋内ドームの件に大変興味を持って、議員と町長とのやり取りを聞かせてもらっています。2万5000町民と子どもたちが待ち望んでいる屋内ドームの完成に向けて、町議会議員一人ひとりの理解と協力のもと、ぜひ早急にお願いします。

議員皆様の益々の活躍を祈念いたします。



編集後記

今年も余すところ2か月ほどとなり、日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。

さて、百石高校生による県内初の高校生レストラン「キッチンいちようの森」が9月10日、おいらせ交流館内に開店しました。

レストランは仕込み・調理・接客を生徒が担当して月1回ペースで営業、生徒たち自身が店舗運営の実践を経験するステージ。

今後も、官・民・学が連携して活動しますが、まごころをもって応援し続けていきたいと思えます。

委員 澤上 勝



27年度 決算

健全財政は維持 安定的な財政運営の維持には、

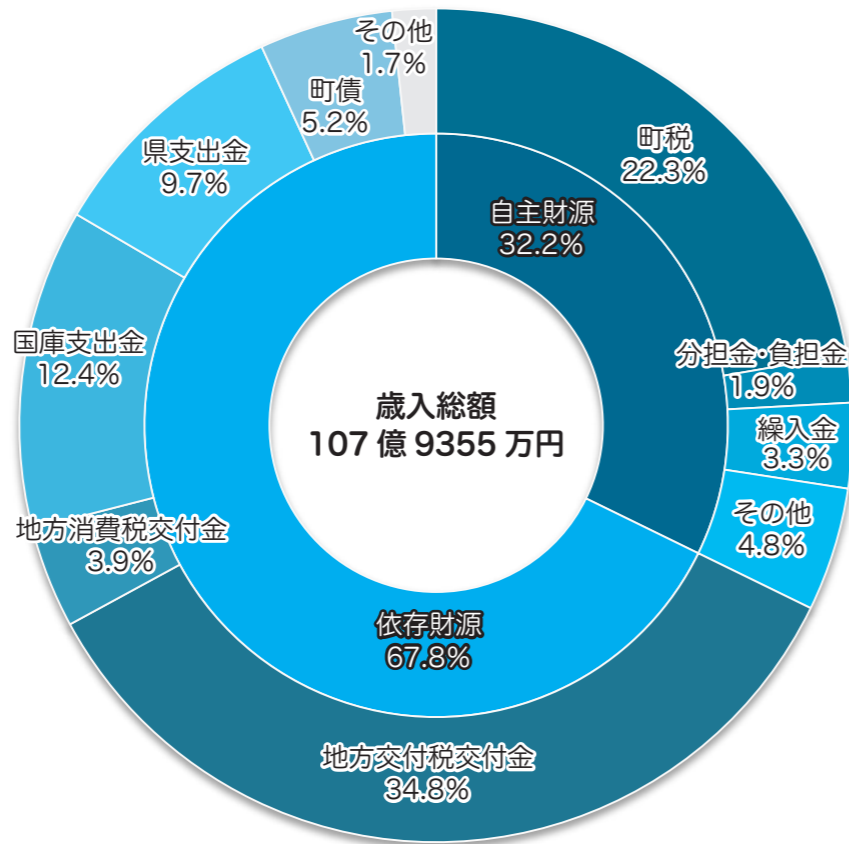
引き続き一層の努力を 収入未済額の圧縮が大きな課題



第3回定例会議での議案審議状況

特別会計の決算

- 国民健康保険特別会計
31億6320万円 (15.7%増)
- 奨学資金貸付事業特別会計
2185万円 (30.1%増)
- 公共下水道事業特別会計
11億2137万円 (4.1%増)
- 農業集落排水事業特別会計
1億2641万円 (3.8%増)
- 介護保険特別会計
21億2448万円 (2.3%増)
- 公共用地取得事業特別会計
2503万円 (35.4%減)
- 後期高齢者医療特別会計
1億5586万円 (1.4%増)
- 病院事業会計
10億454万円 (5.7%減)



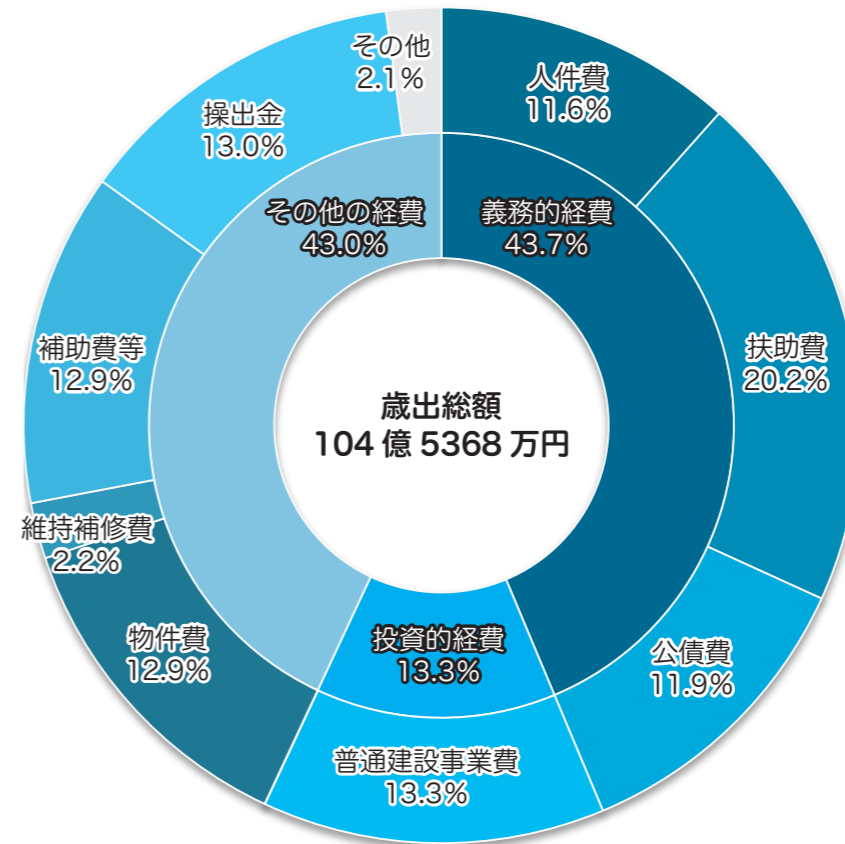
一般会計 歳入決算構成グラフ

ポイント 前年対比

- ◎ 1億8658万円増加 (前年比101.8%)
- ・ 国庫支出金1億1811万円増加
- ・ 地方消費税交付金1億6038万円増加
- ・ 地方債 (借金) 1億370万円減少
- ・ 町税4720万円減少

年度	民生費	土木費	総務費	公債費	消防費	教育費	議会費	その他
平成27年度	31.3%	12.7%	15.1%	11.9%	7.2%	11.6%	1.0%	9.2%
平成26年度	30.9%	13.7%	13.6%	12.2%	9.1%	8.4%	1.0%	11.0%

一般会計 歳出決算構成グラフ (目的別)



一般会計 歳出決算構成グラフ (性質別)

ポイント 前年対比

- ◎ 2億572万円増加 (前年比102.0%)
- ・ 扶助費1億1974万円増加
- ・ 投資的経費5億3586万円増加
- ・ 積立金1億7947万円減少
- ・ 公債費887万円減少

平成28年第3回定例会は、9月1日から8日までの8日間の会期で開かれました。放棄した債権や財政健全化法にかかる報告、学校給食センター整備事業に関する契約、平成28年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、報告4件、諮問2件、議案17件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

また平成27年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定議案9件については決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、原案のとおり認定しました。

一般質問には、3人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。

扶助費：児童手当や保育所運営費、医療給付費など
公債費：地方債 (借金) の返済金
投資的経費：支出の効果が単年度また短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられる経費

健全財政維持への努力を評価、一層の努力期待。
— 決算審査報告 —

町監査委員から決算審査、財政健全化審査及び経
営健全化審査に関する意見書が提出されました。



審査結果を報告する
名古屋誠一代表監査委員長

【決算審査意見】
各会計とも適正に処理
されていると認められ
る。

全体として見た場合、
地方債残高が減り、基金
残高も微減しているが、
健全財政維持への努力が
見られる。

しかし、今後もインフ
ラ整備や福祉など高レベ
ルでの行政サービスの維
持、継続が求められるこ
とから、より一層の努力
と成果を期待したい。
次に、各種税、使用料
等の収入未済額等の状況
を見た場合、前年度より
減少しており、徴収率の

アップに大変努力してい
ることは評価できる。

【財政健全化審査意見】
財政健全化判断の4項
目の指標（下表参照）に
ついては、早期健全化基
準を下回っていることか
ら特に指摘すべき事項は
ない。

【経営健全化審査意見】
病院事業、公共下水道
事業、農業集落排水事業
の各会計は、赤字になっ
ておらず、結果として資
金不足の状況にはなく、
良好な状況にあると認め
られる。

歳出総額は前年比3・8%の増
— 決算の状況 —

平成27年度歳出決算額
は一般会計、8特別会計、
病院事業会計を合わせ
て、181億9642万
円となり、前年度決算額
と比べ、6億6416万
円の増となりました。

◆一般会計の状況は
一般会計歳出額は、2
億572万円の増となり
ました。

目的別で主なものは、
教育費が阿光坊古墳群ガ
イダンス施設建設事業な
どにより3億4724万
円の増、総務費では社会
保障・税番号制度対応シ
ステム改修事業などによ
り1億8374万円の増
となっています。

しかし、消費費では1
億7618万円の減、労
働費1億6910万円の
減となりました。
性質別で見ると、義務
的経費^{※1}では、扶助費
1億1974万円、人件
費2815万円の増など
により、総額では前年比



整備が進められる
阿光坊古墳群ガイダンス施設

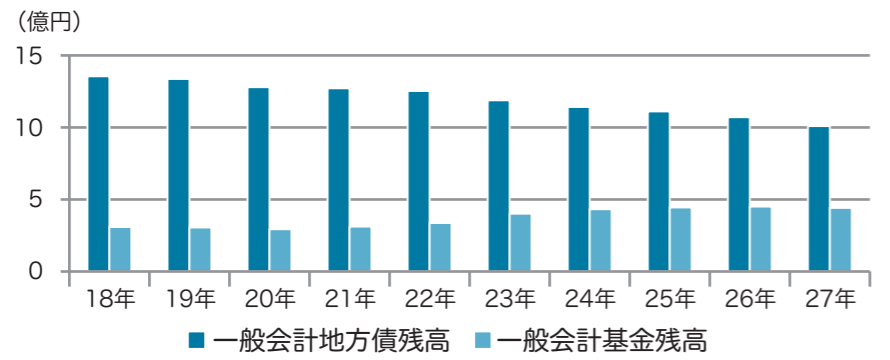
また、その他の経費で
は、積立金1億7947
万円や補助費等^{※2}1億
5481万円の減により
総額では、前年比9・4%
減の44億9985万円と
なりました。

【地方債残高（町の借金）】

区分	平成27年度末	増減額
一般会計事業債	102億1390万円	▲5億4983万円
公共下水道事業債	79億0952万円	▲2億8069万円
農業集落排水事業債	6億9757万円	▲4459万円
財政安定化基金貸付金(介護保険特別会計)	3000万円	▲1500万円
公共用地取得事業債	1000万円	▲2180万円
病院事業債	1億2498万円	▲587万円
合計	189億8597万円	▲9億1778万円

【基金残高（町の貯金）】

区分	平成27年度末	増減額
財政調整基金	15億8506万円	9321万円
減債基金	7億0732万円	▲4893万円
地域振興基金	12億3000万円	増減なし
東日本大震災復興推進基金	4096万円	▲8938万円
公共施設整備基金	5億3053万円	1億1758万円
その他基金(15基金)	8億1472万円	▲1億1464万円
合計	49億0859万円	▲4216万円

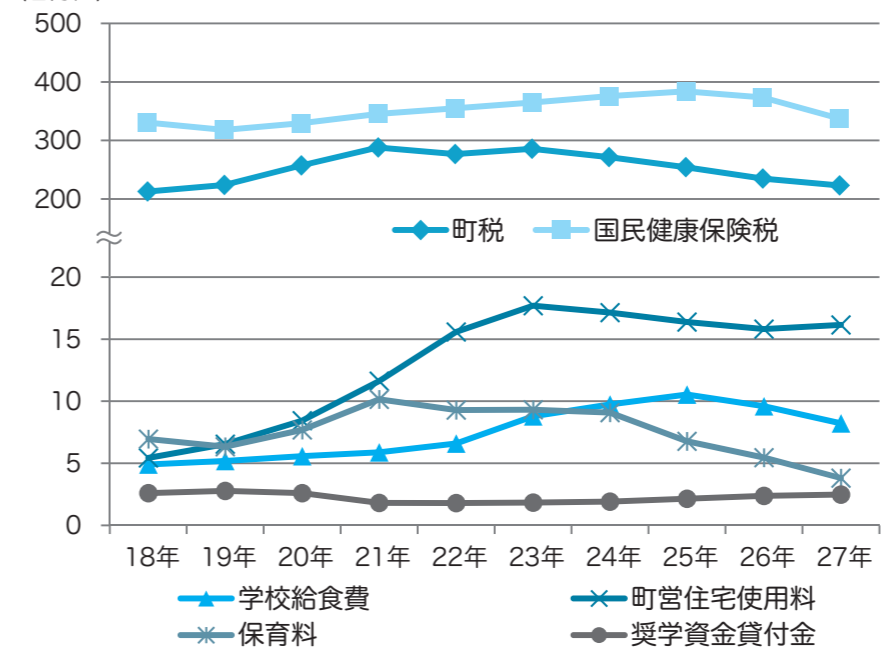


左のグラフは、過去10
年間の一般会計における
基金と地方債の各残高の
推移を表しています。

財政指標 平成27年度一般会計等健全化判断比率

項目	実質赤字比率 (一般会計、奨学 資金貸付事業・公 共用地取得事業の 各特別会計の赤字 の大きさ)	連結実質赤字比率 (一般会計と全て の会計の赤字の大 きさ)	実質公債費比率 (借入金返済の負 担の大きさ)	将来負担比率 (将来負担すべき 負債の大きさ)	資金不足比率 (資金不足が事業 規模に占める大き さ)
27年度	3.33%の黒字	17.81%の黒字	13.3%	33.0%	—
26年度	2.63%の黒字	16.60%の黒字	13.8%	40.9%	—
健全化基準値	14.18%	19.18%	25.0%	350.0%	20.0%

収入未済額の推移



不納欠損額は昨年より増加するが、
「一部収入未済額は大きく減少」
今年度の不納欠損額
は、前年度と比較して、
約1519万円増加し、
約6921万円となりま
した。そのうち町税と国
保税が全体の78・9%を
占めます。
また収入未済額は、約
5914万円減少し、約
6億1503万円となり
ました。
特に学校給食費と保育
料、また下水道・農業集
落排水使用料等の収入未
済額が大きく減少しまし
た。

決算特別委員会 ―主な質疑―

平成27年度の各会計決算認定は、議長及び議会選出監査委員を含む全議員をもって構成された決算特別委員会で審査することを付託されました。委員長に吉村敏文委員、副委員長に佐々木光雄委員を選任し、2日間にわたり審査した結果、全会計の決算認定について異議がありませんでした。紙面では質疑の一部を紹介いたします。

不納欠損・収入未済

解消の取り組みは
平野委員 町税の不納欠損額及び収入未済額解消に向けた取り組みの内容は。

税務課長 税務課内に収納対策本部会議を設置し、情報交換をしながら、毎月第一日曜日には納税相談、毎週火曜日には夜間納税相談、そして夜間臨戸訪問を実施している。また納税に応じない場合は、青森県市町村滞納整理機構に移管して強力に徴収を進めている。

平野委員 職員だけではなく、例えば十和田市のように税務課経験のある退職役場職員を使う考えはないのか。
税務課長 十和田市の例を参考に総務課と検討

してみたい。

移住・定住促進事業

その成果は
榎山委員 地域の元気再生定住促進助成金、婚活イベント事業実行委員会補助金、移住定住促進パンフレット印刷のそれぞれの成果は。

企画財政課長 定住促進助成金の成果は、助成対象者7件（甲洋小学区5件、下田小学区2件）、そのうち6件に子育て加算金が追加されている。婚活イベントは昨年2回実施され、8月には男女合わせて60人が参加し、カップル5組が成立、12月には87人（男45人、女41人）が参加し、カップル10組が成立した。結婚に至ったかどうかは不明。

明。

パンフレットは2000部印刷し、首都圏移住関連イベント、町内各施設に配布した。

出生率向上のため、多子出産祝金の継続を

榎山委員 多子出産祝金支給事業で第二子への支給について46件申請があったが、2件支給されなかった理由は。

町民課長 支給されなかった理由は、申請後に町税その他で未納があったことがわかった。しかし、2件のうち1件は未納が解消されたため、支給している。



決算特別委員会の議事を行う吉村敏文委員長

祝金事業は、2年目以降は、町独自の事業となるため、今後は効果を検証し、継続について検討したい。

榎山委員 この祝金があるかないかは、考えも違ってくると思うので、出生率を上げるために継続を望む。

空き店舗の活用

4件の実績あり

平野委員 コールセンターオペレーター人材育成事業のその後の経過と地域空き店舗活用支援事業の成果は。

商工観光課長 4月30日閉鎖、5月完全撤退となった。県への返還金は町が立て替えており、毎月5万円、42回で返還してもらったこととし、8月

まで履行されている。空き店舗活用支援事業

は、インテリア家具販売店のほか、本町地区に運送業と飲食店の2件、木内々地区に1件、計4件の実績となっている。

平野委員

空き店舗活用支援事業は本町地区だけの対象ではないのか。またインテリア家具販売店も対象にするのか。

商工観光課長 制度上該当地区は町内全域となっており、地方創生事業を活用しているため、インテリア家具販売店も対象となると県に確認している。

今後も対象を限定することなく、空き店舗を利用してもらえば、賑わいや雇用の創出につながるので継続したい。

町の奨学金制度

今後はどうする

榎山委員 国では給付型の奨学金を考えているが、町の奨学金の考えは。

学務課長 全国的にそのような動きがあるようなので、その取組を調べ

て検討してみたい。

馬場委員 人材流出、人口減少対策のため、返還を免除する奨学金制度の考えは。

学務課長 同じことを考えているが、そういう取組をしているところもあるため、詳細を調べて考えてみたい。

平野委員 奨学金制度は生活困窮者への進学の道を開く目的として創設された。

優秀な人材の育成を目的とした新たな奨学金制度を検討すべきだと思ふ。

教育長 町の奨学金制度は進学しなくても経済的理由で困難な生徒を対象にした制度なので、このまま継続し、可能な部分は探っていきたい。

そのほかの質疑の内容は、会議録でご確認ください。

平成30年度から稼働予定

学校給食センター着工へ

請負契約を
可決



4つの基本方針に基づく新施設

百石地区の給食センターは建設から40年以上、さらに下田地区の自校式給食調理場の一部でも建設から30年程度が経過し、建物や設備が老朽化していることから、新たに整備計画が進められている新学校給食センターの請負契約締結を可決しました。

契約は、本体建築、電気設備、機械設備、厨房設備の分離発注で行われました。

新施設は、4つの基本方針「安全・安心で、美味しく、栄養バランスを考慮した学校給食を提供できる施設」、「衛生管理の強化とHACCP*の概念を取り入れた施設」、「食を大切にすることを育む」、「災害時の対応と環境負荷低減に配慮した施設の考えに基づき設計、建設されます。」

施設面積 延床面積 1794.25 m²
(1階 1450.54 m²、2階 343.71 m²)

調理能力 最大 2500 食

契約締結状況

工事名	契約の相手方	契約金額
建築工事	(株)福萬組	5億8320万円
電気設備整備工事	興陽電設(株)	1億6308万円
機械設備整備工事	(株)ヤマト 東北支店	約3億1180万円
厨房設備整備工事	(株)マルゼン 東北営業所	約2億7496万円

基本方針を実現するため、これまで実施できなかった「焼く」「蒸す」を可能とする調理器具の導入やアレルギー対応調理室の設置、外部からの異物混入を防ぐためのシールド設置、食育のための見学コースや食育ルームを設置するほか、調理員と来館者の玄関や通路を分離します。

また、災害時の炊き出しのため、移動が容易な

回転釜の設置や自家発電装置整備を行い、備蓄倉庫には非常食を備蓄する予定となっています。

*HACCP(ハザップ)とは

食品の製造過程で発生する危険性のある衛生・品質上の危険性を分析し、安全性確保のために監視すべき重要管理点を定め、厳格に管理・記録を行うシステム。

百石中学校講堂改築、町民プール建設に向け
測量と工事实施設計委託料を計上

平成28年度一般会計補正予算（第2号）主な内容

●町税（町民税・固定資産税）	1億3090万円
●地方交付税（普通交付税・震災復興特別交付税）	2億8090万円
●財政調整基金の取り崩し	▲2億2181万円
●繰越金	8027万円
【主な事業（歳出）】	
●洋光台団地地盤調査委託料	628万円
●浄化槽設置整備費補助金	978万円
●町道整備工事費	4000万円
●百石中学校講堂建設工事实施設計委託料	2500万円
●測量設計等委託料	2950万円
●プール建設工事实施設計委託料	2600万円
●測量設計等委託料	900万円

平成28年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ2億2350万円を増額し、予算総額を107億3582万円とする提案があり、審議の結果、全員の賛成により可決しました。

【主な質疑】
●**町長**の公約に町民プール建設はあるのか。
●**町民**プールに対するニーズはあるのか。
●**町民**プール完成後は学校プールは廃止するのか。
●**町民**プールは廃止するのか。

特別会計

●**町民**プール ①公約は学校プールだったが、これまでの議論、メリットが多いことから総合的に判断し、町民プールとなった。
●**町民**アンケート調査の結果からも、スポーツ・レクリエーション活動に関心が高く、中学校3校のうち2校でもプール授業を実施したいという声がある。また、ミニ議会でもプールを要望する声がある。また、ミニ議会でもプールを要望する声がある。また、ミニ議会でもプールを要望する声がある。

●**国民健康保険特別会計補正予算（第2号）**
歳入歳出にそれぞれ405万円を増額し、予算総額を30億1888万円としました。
歳出の内容は、保険給付費や療養給付費の国庫等返還金の増額です。

●**後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**
歳入歳出にそれぞれ140万円を増額し、予算総額を1億6082万円としました。
歳出の内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額です。

●**病院事業会計補正予算（第1号）**
収益的収入及び支出の既決予定額に、2007万円を増額し、予算総額を9億8172万円としました。
その主な内容は、収入では医療収益の見込み額の増加、支出では医師住宅の土地家屋売却による特別損失の増加です。

その他の報告案件

●**一般会計継続費精算報告**
平成26・27年度の2カ年で行われた津波避難タワー建設事業の終了に伴い、1億7121万円を支出したことについて報告がありました。

台風10号の被害対応で追加提案

災害復旧に係る経費を計上

定例会最終日に、平成28年度一般会計補正予算の追加提案が提出され、歳入歳出にそれぞれ3461万円を増額し、予算総額を107億7043万円とする提案があり、審議の結果、全員の賛成により可決しました。

平成28年度一般会計補正予算（第3号）主な内容

【主な財源（歳入）】	
●財政調整基金の取り崩し	3461万円
【主な事業（歳出）】	
●消防団員出動費用弁償	237万円
●台風10号に係る災害対応経費	3224万円

●**一般会計補正予算（第3号）**
歳出の内容は、平成26、27年度の消防団員の出動に対して未払いとなっていた費用弁償と台風10号の被害による農道や堤防、しもだサーモンパークの柵の復旧費、倒木撤去・道路清掃等の委託料です。

●**公共下水道事業特別会計（第2号）**
歳入歳出にそれぞれ600万円を増額し、予算総額を11億6528万円としました。
歳出の内容は、台風10号の被害によるマンホールポンプ施設の復旧費です。

人事案件

●**人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて**
委員の任期満了に伴い、引き続き山端節子氏と倉持晶郎氏を新たに候補者として推薦する提案がありました。

●**倉持晶郎氏**（青葉）
任期は平成29年1月1日から平成31年12月31日までとなります。

●**山端節子氏**（阿光坊）
任期は平成29年1月1日から平成31年12月31日までとなります。



倉持 晶郎氏（青葉）



山端 節子氏（阿光坊）

町債権332万円を放棄

（報告第18号）

町債権管理条例に基づき、町債権80件、332万円を放棄した報告がありました。

今回放棄された債権は、住宅使用料約32万円、学校給食費222万円、医療費78万円です。
住宅使用料は1人5件であり、時効及び生活困窮のため放棄しました。
給食費は平成4年度から17年度までの64件17人分及び医療費は平成16年度から22年度までの11件11人分について時効を放棄理由としています。



早朝の火災現場で消火活動を行う消防団員

消防団員の確保に向けて待遇改善

（議案第76号）

消防団員が災害や訓練時に出勤した場合に支給する費用弁償について増額する提案がありました。
地域防災力の要である消防団員が社会情勢の変化により消防団員の確保が難しくなっていることもあり、消防団員活動のため出勤した場合の費用弁償の額を、1回1500円から2000円に増額することを全員賛成により可決しました。

児童館の名称が変わります
—(議案第77号)—

木ノ下児童館の移転改築事業に伴い、北部児童センターと統合し、名称を変更する提案がありました。
現在、木ノ下児童館の老朽化による移転改築事業が実施されていますが、北部児童センター増改築工事完成後の12月1日から2館と統合して、新たに「木ノ下児童セン



増改築工事中の北部児童センター

都市計画の見直しに関する
特別委員会を設置

議長発議により、都市計画の見直しに関する調査を行う特別委員会を設置することになりました。

●都市計画見直し

調査特別委員会

- 委員長 西館 芳信
- 副委員長 田中 正一
- 委員 田中 正一
- 委員 吉村 敏文
- 委員 川口 弘治
- 委員 榎山 忠
- 委員 平野 敏彦
- 委員 高坂 隆雄
- 委員 木村 忠一
- 委員 澤上 訓
- 委員 澤上 勝
- 委員長 西館 芳信



副委員長 田中 正一



町では、平成30年度を目標に「おいらせ町都市計画マスタープラン」の策定を目指していることから、議会でも、都市計画の見直しは各分野に影響があり、重要な事案であるとして、町と連携を図るため、都市計画の見直しに関する調査を行う「都市計画見直し調査特別委員会」を設置することになりました。
定例会最終日に議長の発議により提案され、全議員の同意で設置された特別委員会の定数は、10人となります。
今後、将来のまちづくりという視点から、都市計画に関する理解を深めつつ、都市計画マスタープラン及び都市計画の見直しについて調査することになります。

第4回議員全員協議会

8月22日(月)に議員全員協議会が開催され、3つの案件について協議しました。

【第4回】

◆町公共施設等総合管理計画(素案)の報告について

国の指針に基づき、町が保有する公共施設の長寿命化、維持更新費用の縮減等を目的に作成した計画の素案について報告がありました。

報告では、現在、町が125施設(延床面積10・8万㎡)を保有し、現状の施設を維持した場合の更新費用は10年間で約58億円不足することから、将来の人口減少を見据えた整備更新や施設の統合・複合化、民間活力の活用によるコスト削減の調査・研究が必要であることなど計画の内容について説明がありました。

◆北部地区下水道事業の調査研究報告について(中間報告)

町が調査を行っていた北部地区における下水道

整備について中間報告がありました。

報告では、馬淵川流域下水道への接続、農業集落排水施設の機能強化、三沢市下水道への接続等のシミュレーション結果から、馬淵川流域及び三沢市下水道への接続の場合、100億円以上の事業費が必要となり、農業集落排水施設機能強化の場合は17億円程度必要であることが説明されました。

◆町民プール整備計画について

総務文教常任委員会の調査報告(ぎかいだより懸橋42号掲載)を踏まえ、再検討した結果の説明がありました。

- 総事業費(見込) 約4億2000万円
- 建物面積 951㎡
- 形態 屋内型・温水設備なし(シャワーは温水使用)

町政を問う

～ここが聞きたい 一般質問～

ページ	質問事項	質問議員
12	1. 稲作農家の環境保全対策について 2. 町建設工事入札参加資格基準について 3. おいらせ町公共施設等総合管理計画について	平野 敏彦
13	1. 木内々踏切周辺道路整備について 2. 教育長の教育方針について	榎山 忠
14	1. 給食センター整備について 2. ふるさと納税について 3. 百石中学校施設の改修について	吉村 敏文

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約していますので、本会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局(本庁舎3階)や町議会ホームページ(<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>)で閲覧できます。



榎山 忠 議員

再任教育長は積極的教育行政を。

教育長「町教育大綱を積極的に推進する。」

町長 木内々踏切西側の町道木内々・本町線では北側に歩道が整備されていないが、踏切内では反対の南側に幅約90cm歩行者空間は確保されてい

ない理由は、踏切内に歩道が整備されない理由は、

町長 木内々地区の踏切で、毎朝、子どもたちの交通指導をしているが、6時50分から7時35分の45分間に、650台くらい車輦が踏切周辺を通過し、毎日平均10台くらいの車輦が一時停止を無視し通過している。何時、大きな事故が発生してもおかしくない状態だ。

木内々地区踏切周辺 交差点の危険解消を



狭い歩道の拡張を

町長 国道45号から(有)ナカムラペンキ付近までは歩道が整備されているが、交差点付近では幅が70〜80cmと狭い歩

道は横断する必要があり、運転手への注意喚起を図るために、歩道の前後にカラー舗装を行い、歩行者等の車道横断時の安全確保に努めている。

町長 把握しているのは人身事故のみだが、平成28年6月に一時不停止による人身事故が1件発生した。

町長 把握しているのは人身事故のみだが、平成28年6月に一時不停止による人身事故が1件発生した。

しかし、現状では、車道を横断する必要があり、運転手への注意喚起を図るために、歩道の前後にカラー舗装を行い、歩行者等の車道横断時の安全確保に努めている。

教育長 町の学校教育の目標は、町教育大綱の基本方針の一つに掲げている「夢の実現に向けて、学ぶ楽しさと喜びを実感させ、個を生かし、生きる力をはぐくむ学校教育を推進する。」である。これは、平成27年度よ

うことで理解してほしい。画を策定する。

町長 大変厳しい状況と認識しているが、必要とされる施設整備にも対応しなければならぬ。計画に基づき、経費削減に取り組みとともに限られた財源を効果的に活用していくことを考慮し、多目的ドーム整備実現に向けて引き続き検討していきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

町長 町民や体育協会をはじめ多くの団体から要望がある。前向きにとらえていきたい。

企業の人手不足、体育協会の選手不足 解消のために入札参加資格の見直しを。

町長「スポーツと企業の連携のあり方が重要。 国・他自治体の動向をみながら検討課題としたい。」



平野 敏彦 議員

耕作放棄水田 町の対策は

町長 米の価格はいまだに厳しい状況が続いている。稲作農家の状況を改善するため、国で振興する主食用米から飼料用米等の作物への転換に対する直接支払い交付金の活用、生産コストを低減する取り組みへの支援など経営所得安定に必要な対策を講じる。

町長 飼料用米農家には、主食用米同様の水田管理をするよう依頼している。苦情がある場合には現地確認を行い指導している。

町長 国作成マニュアルを参考にしており、スポーツと企業の連携の在り方など、今後の国や他自治体の動向を見ながら、検討課題としたい。

町長 町では人口減少、少子高齢化を見据え、効果的な施設管理を目指して公共施設等総合管理計画を策定中である。

町長 町では人口減少、少子高齢化を見据え、効果的な施設管理を目指して公共施設等総合管理計画を策定中である。

町長 浜道地域の耕作放棄水田については、農地中間管理機構を活用した農地の賃貸借により耕作されるよう啓発等の取り組みをしている。

町長 幅広く議論して内容を詰めなければならぬ。総合的な判断が必要であり、検討課題とい

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項

町長 町建設工事入札参加資格審査における格付け基準の項目「ボランティア活動」の定義にスポーツ大会選手派遣の項



吉村 敏文 議員

百石中、校舎は新築。体育館はどうする？

教育長「今回、設計事務委託料を計上。」 学務課長「規模は1,400㎡程度を想定。」

給食センター整備 あらためて確認

吉村 給食センターは合併前から老朽化や衛生面から問題があったが、今年度、ようやく着手された。

以前の説明では補助金の適用は不透明だったと思うが、建設に関して補助金等があるのか。

教育長 合併特例債及び国補助金である「学校施設環境改善交付金」を充てるが、県教育委員会より、平成28年度1期工事分として交付決定通知を受けている。

吉村 各校の受け入れ環境はどうか。

教育長 給食センター方式では、給食センターで調理した給食を各学校へ配送するため、給食配送車の高さに合わせて搬入口と、給食コンテナ等を保管する配膳室を設ける必要がある。

そのため、平成28年度に調査及び設計し、29年

度は仮設搬入口の整備、30年度は本設搬入口の整備を行う。

なお、単独調理校の給食調理室は、配膳室として改修工事を行うことになるが、学校側の希望もあり、部屋の一部を区切り、印刷室や教材備品倉庫にする予定である。

吉村 給食費の収納方法はどうか。

教育長 新学校給食センター稼働予定の平成30年度から、給食費及び収納方法についても統一する予定で検討している。

教育委員会としては、小学校は1食255円、中学校は1食300円で考えているが、今後の食料費の高騰等により、影響を受けることも想定されるため、改めて調査検討を行う。

また、給食費の収納方法についても、原則、保護者の口座から引落しする方法で検討しているが、学校関係者や金融機関関係者との協議を踏まえ、早い段階で保護者へ

ふるさと納税制度 流出する税収財源額は

吉村 現在の町の状況は。

町長 当町のふるさと納税の状況は、平成26年度実績が83件、寄附金額、114万5千円、27年度実績は、1027件、241万5千円と大きく増え、今年度の寄附受付状況も、昨年度の同時期と比較して上回っている。

また昨年、町民で他自治体へふるさと納税で寄附した方は、69人、寄附金額が388万1千円で、これに伴う町民税控除額、いわゆる流出する税収財源は165万3731円となっており、差し引いても寄附受入額が上回っている。

吉村 返礼品の選定方法と担当課は。

町長 返礼品は、町のPRも兼ねて、町の特産

品や地元業者による生産加工品などを中心に、現在、16の品物を選定している。町内の事業者であること、町内で生産された原料を使用していることなどの基準をもとに、事業者等と協議しながら選定し、追加等も随時、対応している。

また、これらの返礼品の選定も含め、ふるさと納税に係る事務は、企画財政課が担当している。

百石中学校施設 今後の計画は

吉村 体育館の老朽化が進んでいるが、改修する予定は。

教育長 百石中学校講堂は、昭和52年度に建設され、建築後約38年経過している。

平成27年度に調査を実施した結果、構造上危険な状態にある建物として判断されたため、今回、改築事業に必要な各設計業務委託料を補正予算に計上した。



建築後38年経過した百石中学校講堂

吉村 現給食センターの撤去後、跡地をグラウンドとして拡張する予定は。

教育長 教育委員会としては、百石中学校のグラウンドとして活用するのが、管理する上でも効果的ではないかと考えている。

今後、現在の給食センターの解体を計画する上で、グラウンドとしての活用を含め、総合的な活用方法を検討していく。

先駆的な取り組み 「中学校区教育」

福井県の平成27年度の全国学力・学習状況調査の結果は、全国順位から見て極めて高い状況にあり、福井市においては、県平均を上回る項目が7割を占めているなど全国トップレベルという状況です。

福井市には、小学校50校、中学校26校があり、ますが、平成17年度から「同じ中学校区内にある保育園、幼稚園、小学校、中学校が一体となり、子どもの学びの連続性、目標・内容の系統性、指導の継続性を踏まえ、意図的・計画的に一貫した取り組みを行う」、「地域と協働した教育を進めることを通じて、子どもが地域の

一員として、将来にわたって地域づくりに貢献できるようにすることを「目指す」を目的とした「中学校区教育」を取り入れており、先駆的な特徴として全国から注目を受けています。

多くの都道府県では学年単位で横のつながりで連携する「横持ち方式」を用いていますが、福井市では「縦持ち方式」とよばれる、学年を飛び越え、小学校、中学校といった校種を飛び越える「縦型の連携」をシステム化することで、生徒の育成面だけでなく、授業づくりや教員のスキルアップといった点で、多くの教師から高く評価されています。

さらには家庭学習の宿題の与え方も、2世代・



福井市役所を訪問

3世代世帯が多い地域を背景に、伝統的に量が大変多いとのことで、これも学力を支えてきたと考えられています。

結びに「縦持ち方式」の副次的な効果として生徒指導上の面情報収集が早く、対応も早くなっていると報告がありました。

また主要施設をできるだけ集約するインフラ整備に着手し、富山市に近いという利便性を生かす駅舎を整備しています。

居心地の良い図書館を 兼ねた駅舎の整備

舟橋村（人口3009人・1008世帯）は富山市から電車で15分に位置し、面積3.47km²の日本一小さな自治体です。村全域が広域都市計画に指定されたことにより、開発が困難となり、昭和55年には出生者数が1ケタとなっています。

そのため市街化調整区域からの除外運動を開始、昭和63年に市街化調整区域から除外され開発が容易になりました。

平成元年に村営住宅団地の造成を皮切りに、民間の宅地造成も加速化し、人口増加へ動き始めています。

また主要施設をできるだけ集約するインフラ整備に着手し、富山市に近いという利便性を生かす駅舎を整備しています。

駅舎は、利用促進と付加価値を高めるため図書館を併設するとともに、無料駐車場（250台）を整備していますが、その結果、図書館の利用登録数が1万8000人を超え、村外利用者が1万5000人ほどとなっています。

役場に図書室しかなかったこと、貧弱な蔵書で週末のみの開館という不便な時代、駅という無人化の危機、人口1400人程度と停滞していた時代から一転したということです。年間予算13億円の村に10億円の図書館の整備は、思い切った決断であると思えます。

ハード面だけではなく、利用者増加のため、「くつろげる空間」「滞在型図書館」を目指してソフト面にも力を入れており、村三役を含む役員が率先して「読み聞かせ会」を行っているほか、作品展や年賀状作りや地域の野菜が並べられ、持ち帰りができるなど、村民の家、職場以外の「第三の場」として優

しく居心地の良い図書館がそこにありました。近隣地域に比べて地価が安いということもあり、何よりも若い世代には住宅新築のきっかけとなったようです。これらを背景に村は自然増ではなく、社会増となつていったとのことであり、今後の課題としては自然増にどう結び付けていくか検討中とのことでした。

委員長 吉村敏文

学力上位県の教育手法・人口増加率第2位の村を視察 総務文教常任委員会視察報告(福井県福井市・富山県舟橋村)

去る9月28日から30日まで、総務文教常任委員会委員8名は、福井県福井市と、富山県舟橋村を視察しました。



舟橋村立図書館・越中舟橋駅